

祈りの回廊 2021 年秋冬版

時代を動かした実業家と奈良

令和 3 年(2021)10 月～令和 4 年(2022)3 月

ID311326606

『祈りの回廊』は奈良の神社・仏閣で普段は拝観できない秘宝や秘仏の特別開帳の情報を随時ご紹介しています。また、貴重な「特別講話」や奈良に様々な角度から光を当て、その魅力を多彩にご紹介する「祈りの回廊コラム」など、祈りの回廊でしか読むことができない情報をお届けします。

今号では

「東の渋沢、西の五代

時代を動かした実業家と奈良」

を紹介しています。

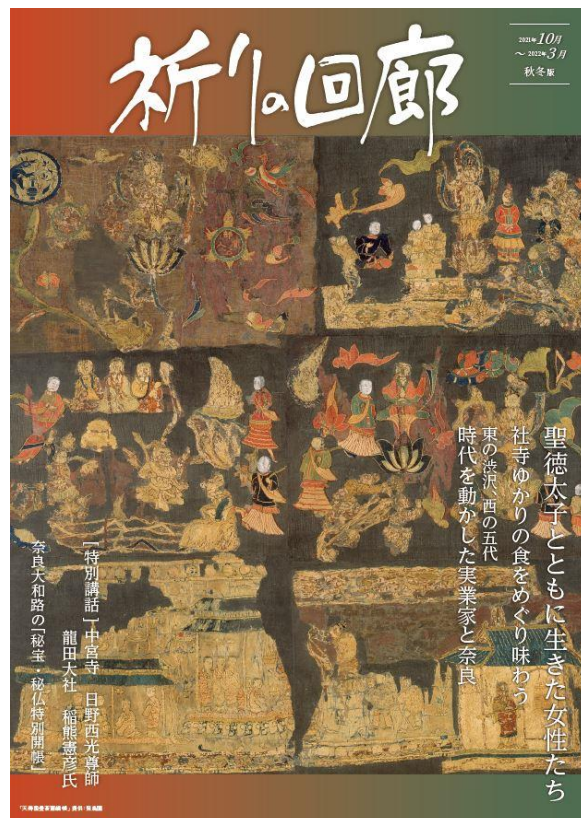
渋沢栄一が関わった 今に伝わる奈良での事業
渋沢は全国で数多くの銀行の設立指導や援助をしています。奈良では大正 15 年(1926)第六十八国立銀行が設立され現在の南都銀行になります。

(写真下)

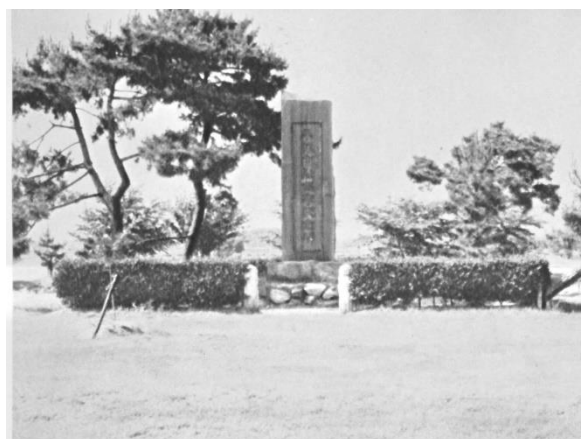
平城宮跡の保存活動を棚田嘉十郎や溝辺文四郎らが進めていましたが、渋沢は大正 2 年(1913)に結成された「奈良大極殿址保存会」の発起人の一人です。保存運動と土地買収が進められ、大正 11 年(1922)に平城宮跡が国の史跡に指定された。

記念碑を建て今も近鉄線の踏切近くにあります。

(写真右下)



南都銀行本店(建物は 大正 15 年竣工)



平城宮跡保存記念碑 大正 12 年建立
写真提供：奈良市